



## TUMIQUI プロジェクトの歩みを止めない

現在、COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の影響で、アフリカのセネガルでも国際線の停止や夜間の外出制限などが発令されています。しばらくはセネガル国内での感染拡大を防ぐ対策として、政府は国境や州の越境などへの規制処置を取っています。しかし、今現在、情報通信と物流は制限されていません。



本年1月にセネガルに設立した当社子会社のTUMIQUI JAPON SASU(ツミキジャパン)は、アフリカ統括責任者が現地にて引き続き以下の事業を行っており、今後、人の移動制限が長期化するであろう世界のビジネス環境に対応すべく、当社の強みであるICT技術を駆使し、現地ビジネスを継続させることでセネガルに貢献できる体制を確立しております。

1. TUMIQUI事業 (UNIT生産・販売・保守、他業種連携等)
2. セネガル現地調査事業 (コーディネーション、通訳・手配等)
3. 日本企業様の現地代理店事業 (マーケティング・販売・保守等)

2については、日本からの出張が難しい場合、セネガル在住の現地のスタッフがパソコン等の通信機材とテレビ会議ソフトウェア (Zoomなど) で、セネガルから日本のご担当者様とテレビ会議を開催し、インタビューを行うことも可能です。3については新規事業となりますが、日本企業様の商品やサービスを仏語圏西アフリカへ展開をお考えの企業様において、現地に赴くことなく、マーケティングから販売促進・保守に至るまでの対応が可能です。

これらを現地スタッフの安全保守と感染拡大防止対策を取りながら、事業継続に向けてあらゆる方策を取って行く所存です。

我々は、COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の猛威が世界中に広まる中、TUMIQUIプロジェクトを継続することが、アフリカ発展の歩みを止めないムーブメントとなることを確信しています。

2020年3月31日  
株式会社シュークルキューブ ジャпон 代表取締役社長  
佐藤 弘一